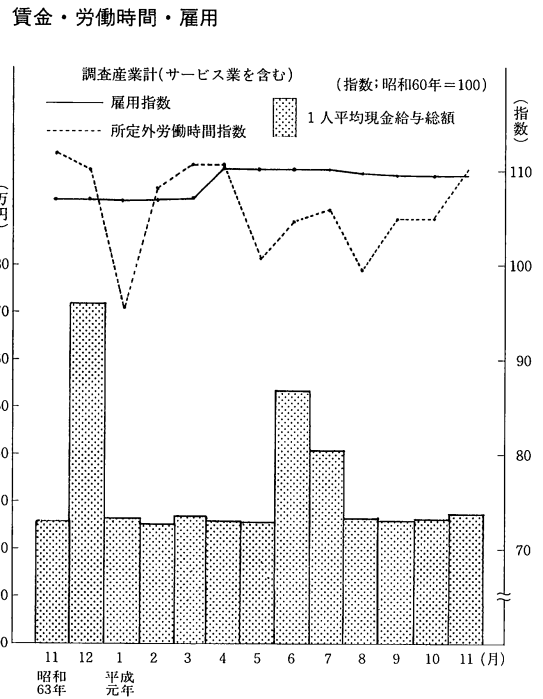
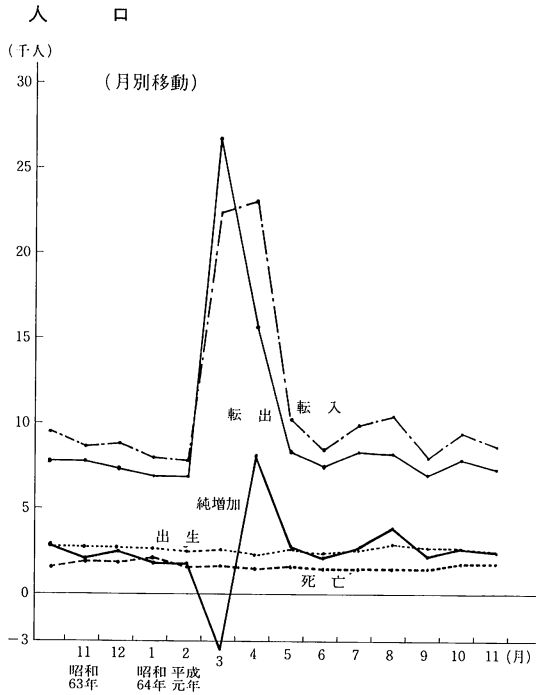
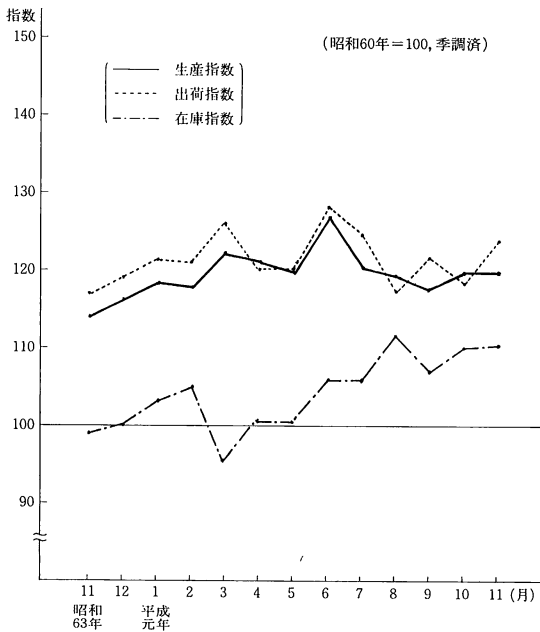


● 今月の主な動き

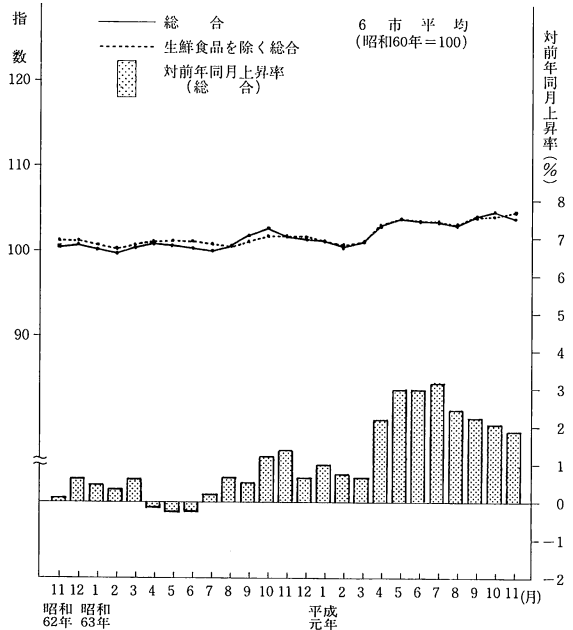
今月の主な動き



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■人口(12月1日)

本県の人口は、11月中に2,213人増加し、12月1日現在で2,830,749人(男1,411,231人、女1,419,518人)となった。

内訳は、自然動態で944人(出生2,378人、死亡1,434人)増加し、社会動態で1,269人(転入8,560人、転出7,291人)増加した。対前年同月と比べると28,267人(1.01%)の増加

である。

市町村別では、増加が16市43町村、減少が4市22町村、増減なしが3町村である。

世帯数についても11月中に1,307世帯増加し817,213世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(11月)

1. 平均賃金の推移

11月の現金給与総額は、調査産業計で270,934円、前年同月比5.3%増(前月は3.3%増)であった。このうちきまって支給する給与は260,541円、前年同月比3.9%増(前月は3.8%増)であった。

また、きまって支給する給与のうち所定内給与は228,530円で、前年同月比3.8%増(前月は3.8%増)であり、超過労働給与は32,011円で、前年同月比3.6%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、前年同月比3.5%増であった。

2. 労働時間

11月の総実労働時間は、調査産業計で179.7時間、前年同月比1.5%減(前月は0.4%増)であった。このうち所定内労働時間は159.8時間で、前年同月比1.7%減(前月は0.3%増)であった。

また、所定外労働時間は、調査産業計で19.9時間、前年同月比はもちあい(前月は1.1%増)となっている。

3. 雇用の動き

11月の常用雇用の動きを前年同月比によってみると2.0%増(前月は2.0%増)であった。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(11月分)

本県における平成元年11月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が119.7、出荷が124.0、在庫が110.6で、前月比は、生産が△0.1%の低下、出荷が4.3%の上昇、在庫が0.4%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が4.5%の上昇、出荷が5.5%の上昇、在庫が11.7%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、鉱業、石油・石炭製品工業、一般機械工業等が上昇し、金属製品工業、電気機械工業、輸送機械工業等が低下した。出荷では、一般機械

工業、非鉄金属工業、食料品・たばこ工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、繊維工業、鉱業等が低下した。在庫では、鉱業、精密機械工業、輸送機械工業等が上昇し、化学工業、一般機械工業、非鉄金属工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、非耐久消費財、資本財が上昇し、耐久消費財、鉱工業用生産財等が低下した。出荷では、資本財、建設財等が上昇し、その他用生産財、耐久消費財が低下した。在庫では、その他用生産財、耐久消費財等が上昇し、資本財、非耐久消費財等が低下した。

■消費者物価指数(11月)

平成元年11月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で103.7(昭和60年=100)となり、前月比1.0%の下落、前年同月比2.0%の上昇となった。

今月上がった主な項目……衣料2.0%、理美容サービス2.0%、乳卵類1.8%、他の光熱1.5%、魚介類1.1%
 今月下がった主な項目……果物△21.3%、野菜・海草△17.2%

生鮮食品を除く総合は104.4となり、前月比0.2%の上昇、前年同月比3.0%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	103.7	△1.0	2.0	保健医療	105.8	△0.1	2.7
食 料	101.3	△3.2	0.0	交通通信	102.3	△0.1	2.2
住 居	112.5	0.3	4.2	教 育	116.7	0.0	3.1
光熱・水道	88.0	0.1	0.5	教養娯楽	106.4	△0.5	4.0
家具・家事用品	100.0	△0.3	1.3	諸 雑 費	105.5	0.7	2.3
被服及び履物	111.0	1.3	4.6	生鮮食品を除く総合	104.4	0.2	3.0